

学校だより 加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



with コロナ！学校生活にも少しずつ変化が…。

加茂野小学校長 堀部 昇

7日（金）の始業式、入学式を終え、令和5年度がスタートしました。学校は一段と活気があふれ、笑顔いっぱいの姿、集中して真剣に取り組む姿など、新しい年度に期待し、自分の「出し切る」を生活の中でどんどん発揮する姿があります。昨年度とは少し違った日常も始まりました。

① 今月の歌（月ごとに決めた歌）が朝の会で響き始めました。

朝から子どもたちの歌声が聞こえる日常が戻ってきました。『今月の歌』これも懐かしのフレーズですね。4月の歌は「校歌」です。『緑と花に包まれて 朝日に輝く天乳池』まさに加茂野小の朝を象徴する歌詞で歌が始まります。どの学級でも、校歌を歌って1日がスタートします。「そうそう、子どもって体でリズムをとって歌うんだっ！」そんな素敵な姿に感動を感じる毎日です。



② 学校給食は『黙食』でなくなりました。

「静かに食べる」という給食のマナーと「少しは話をしてもいいよ。」と言う話とのせめぎ合いで、戸惑いを感じさせながらのスタートです。お互いに気を遣っている様子も見られ、まだまだ静かな時間の中で給食時間が刻まれます。それでもなんとなく和んだ雰囲気が伝わってくるこの頃です。



『命を守る訓練』は、年度初めてであっても実に見事でした。

11日（火）、全校で『命を守る訓練』を実施しました。700人規模の避難となれば、多少の気のゆるみや私語がありそうなものですが、子どもの意識は非常に高いものがありました。

『実に素晴らしい！』1年生の子たちはピリッとした雰囲気を醸し出しています。5、6年の高学年は圧巻です。運動場に避難した後も真剣なまなざしで「待つ、聴く」ができました。



本年度も、『安心・安全な学校づくり』は最優先事項として推進していきます。